

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年七月度 入選句（投稿総数二千七百九十八句・小中学投句数二千七十四句）

特選

選者 和田 勝子

落とさないせんこう花火いき止めて 大垣市 小林 りん子(小三)

花火には、夏の夜空の祭典とも言われますように各地で盛大に行われます。夜空に高く花開く打揚げ花火や仕掛け花火のように大型のものがありますが、作者は、庭先で楽しむ線香花火を家族の人と一緒にされたのでしょうか。手で持つ線香花火は少しでも持つている手がふらついたりとすると短い線香花火になつてしまうため、少しでも長く楽しみたいという願いからこよりの花火の火薬を長持ちさせようと頑張った様子を句にされたんですね。共感させられる句ですね。

にじのはしゆめのくにまでいけるかな 大垣市 大塚 彩友美(小二)

雨上がりに涼しくなった空にできる七色の虹の橋は、とても美しいですよ。虹には朝虹とか夕虹とか二重虹とかありますが、幸運に恵まれるようにと願つてらっしゃいますね。だから、この美しい虹を見ていたら、自分の願い、希望が叶うのではないのかなと作者は思われたのでしょうか。すてきな句ですね。

青空と雲の峰見ておにごっこ 大垣市 小塚 允寛(小五)

友だちと一緒ににおにごっこをしている時に出来た句ですね。

とってもよい晴天だったのに、いつの間にか入道雲が出てきたんですね。遊びが今とっても楽しくなつてきたんですね。だからすぐに止めるわけにはいきません。「まだ大丈夫、まだ大丈夫。」と空の様子を伺いながら夢中におにごっこをしていますね。様子がよくわかるすてきな句ですね。

秀逸

こいたちは緑の日がさをさしている 大垣市 山村 心愛(小六)

かたつむり見つめたとたん顔かくす 大垣市 大橋 結愛(小三)

つばめさんぼくのいえからすだつてく 大垣市 近藤 秀介(小三)

ザリガニがはさみチヨキチヨキぼく見てる 大垣市 よしだそうすけ(小二)

かえったらつばめのこえがきこえるよ 大垣市 あんどうゆうすけ(小二)

夏風と共にただよう古城の香 羽島郡岐南町 柴田 和奏(小四)

石かべのこけむす風の涼しけり 大垣市 松野 孝昌(小六)

蛍まう私の心照らされる 美濃加茂市 長谷川 加苗(中二)

ばったさんほそいからだにながいあし 大垣市 米津 祐人(小二)

にわかあめにゆうどうぐもがあそんでる 大垣市 こやま りの(小二)

入選

水門川水草うるおし流れゆく	大垣市	高橋 聖羅(小六)
夏の川しずかにたたずむもやいぶね	大垣市	吉田 歩尚(小六)
雨上がりくもの巢に見る万華鏡	大垣市	西内 達也(小五)
雨あがりまいごのホタルとんでいる	大垣市	平木 大成(小四)
あぜ道でかえると妹にらめっこ	大垣市	牛田 温斗(小四)
あじさいが雨でおめかしうれしそう	大垣市	清水 もも(小三)
だんごむしつちのなかにもぐりこむ	大垣市	村上 しゅうと(小二)
なつかぜはつらいなつらいしんどいな	大垣市	いまづ ゆずか(小二)
ぴよんぴよんとおどりまくるよあまがえる	大垣市	あかお ぜん(小二)
しんかんせんしよかの風切りはしってる	大垣市	もり しょうご(小二)

入選

雨の日のかさのぎょうれつとうこうはん	大垣市	たなべ ゆうか(小二)
夏木立ち舟とみなもにうつるかげ	大垣市	生駒 智之(小六)
わき水が夏ぼうしたちであふれだす	大垣市	川島 一輝(小六)
夏祭りいつもとちがう顔いっぱい	美濃加茂市	福地 未来(中三)
かみなりがそとでもいえでもひびいてる	大垣市	室 琉希也(小二)
はつけよいまけるなぼくのかぶとむし	大垣市	松岡 佑哉(小二)
かわのちかくほたるがひかるきのうえで	大垣市	加納 都和子(小二)
雨上がりくぐってみたいにじのはし	大垣市	河合 皓生(小二)
てのなかでそっとひかるよほたるさん	大垣市	杉原 莉歩(小二)
よくみたらめだかの赤ちゃんこんにちは	大垣市	秦 柚葉(小三)

選者吟

青田風ふんわり響く電車音

勝子